

# 企業内保育所が相次ぐ

## 設置で安心子育て 人材確保にも貢献

企業内保育所の設置が相次いでいる。昨年秋以降の景気悪化で経営環境は厳しいが、好不況期にかかわらず、人材の育成・確保は企業の共通の課題だ。子育て期にも安心して働ける環境を整えることで、優秀な人材を確保しようとの狙いもある。

(秋谷明宣)

### ほかの企業にも提供

#### 【コックト】

企業の総務や経理など事務全般を請け負う「コックト」(宮本直美社長)は、さいたま市中央区に新設した事務所に保育室を併設した。保育室の定員九人のうち、一部を貸



コックトの保育室。定員九人。他の企業も利用している。

かの提携企業に貸し出している。

宮本社長は「子育て期の女性が働きに出るための障害をなくしたい」と話し、「母親が安心して働ける環境を整える」ことで、女性の採用にもつなげる考え。

保育室の開設は社員の福利厚生制度の拡充の一環。保育料はコックトが全額負担している。

事務所の面積は約八十平方メートルで、うち保育室が約五十平方メートル。保育士の資格を持つ女性が保育している。三人体制でスタートした。午前八時十五分から午後八時まで利用できる。

九人の定員のうち五人分がコックトの社員枠で、二月か

ら二人が利用。残りの四人分が、他の提携企業に貸し出す枠で、三月から、さいたま市内の企業が利用を始めた。

コックトは昨年九月に設立。さいたま市内の企業を中心に業務を請け負っている。

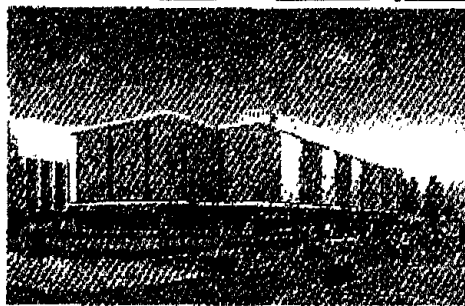
ベンチャー企業の経営者やニュービジネス事業者が組織する埼玉ニュービジネス協議会の事務も受託している。

### 研修センターに保育所

#### 【埼玉りそな銀行】

埼玉りそな銀行は、さいたま市浦和区の本社敷地内に企業内保育所を設置した研修センターを建設する。「働きやすい職場づくりを推進する」のが目的。研修センターは二〇一〇年二月の完成予定。保育所は同年四月のオープンを目指している。

銀行は女性が多い職場。埼玉りそなも、スタッフ社員を含め全社員の約七割が女性。女性の就業環境の整備にも力



企業内保育所を併設した埼玉りそな銀行研修センター完成予想図

を入れていく。

同行は昨年六月、厚生労働省から、次世代育成支援対策推進法に基づき、適合事業主に

認定、県内金融機関として初めて認定マーク「くまみん」も取得した。育児休業期間や育児勤務時間を延長しているほか、社員・スタッフ社員間転換制度、再雇用制度などによる仕事と育児の両立を推進している。

新たな研修センターは地下一階、地上三階建てで、延べ床面積約三千平方メートル。併設する保育所は約百平方メートル。定員は十四人くらい。

屋上と壁面を緑化し、雨水を再利用するなど、環境にも配慮する。大規模災害が発生した際に対策本部としての機能も備える。